

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

| | | | |
|---------|----------------|---------|---------|
| 5月2日(日) | とも内科クリニック | 郷ヶ丘 | 46-3200 |
| | かしま病院 | 鹿島町下蔵持 | 58-8010 |
| | 榎田病院 | 植田町 | 63-3202 |
| | 春山医院 | 常磐下湯長谷町 | 44-4011 |
| 3日(月) | 自由ヶ丘さとうクリニック眼科 | 自由ヶ丘 | 28-7070 |
| | 中村病院 | 小名浜大原 | 53-3141 |
| | 花田内科クリニック | 錦町 | 62-5000 |
| 4日(火) | あかいけ耳鼻咽喉科クリニック | 郷ヶ丘 | 29-5333 |
| | 石井脳神経外科・眼科病院 | 小名浜林城 | 58-3121 |
| | いわき南クリニック | 植田町 | 77-1663 |
| 5日(水) | 小名浜生協病院 | 小名浜岡小名 | 53-4374 |
| | さいとう内科クリニック | 佐糠町 | 77-1001 |
| | 常磐病院 | 常磐上湯長谷町 | 81-5522 |
| 9日(日) | ふかや耳鼻咽喉科 | 小名浜住吉 | 58-1187 |
| | 矢吹病院 | 佐糠町 | 63-1818 |
| | いわき湯本病院 | 常磐湯本町 | 42-3188 |
| 16日(日) | 小林胃腸科・肛門科医院 | 小名浜元分 | 53-4466 |
| | 呉羽総合病院 | 錦町 | 63-2181 |
| | かもめクリニック | 草木台 | 28-1010 |
| 23日(日) | やまぐち整形外科 | 鹿島町走熊 | 29-7000 |
| | なこそ病院 | 勿来町 | 65-7755 |
| | 箱崎医院 | 常磐関船町 | 42-3131 |
| 30日(日) | 磐城中央病院 | 小名浜南富岡 | 53-3511 |
| | こうじま慈愛病院 | 錦町 | 63-5141 |
| | 織内医院 | 常磐関船町 | 44-1133 |
| 6月6日(日) | かしま病院 | 鹿島町下蔵持 | 58-8010 |
| | 呉羽総合病院 | 錦町 | 63-2181 |
| | 常磐病院 | 常磐上湯長谷町 | 81-5522 |
| 13日(日) | 村岡産婦人科医院 | 小名浜岡小名 | 92-4578 |
| | 榎田病院 | 植田町 | 63-3202 |
| | いわき湯本病院 | 常磐湯本町 | 42-3188 |

日曜 小児専門当番医 9時~12時

| | | | | |
|----|-----|---------------|--------|---------|
| 5月 | 2日 | いわき草木台総合クリニック | 草木台 | 28-1145 |
| | 9日 | 森のこどもクリニック | 植田町 | 38-7227 |
| | 16日 | おおはらこどもクリニック | 東田町 | 63-0001 |
| | 23日 | やまぎわこどもクリニック | 郷ヶ丘 | 28-8686 |
| 6月 | 30日 | むらまつ小児科 | 常磐関船町 | 72-0707 |
| | 6日 | 渡辺クリニック | 平南町 | 25-1170 |
| | 13日 | こんない子供クリニック | 小名浜岡小名 | 73-8815 |

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署 (☎23-0119) へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日 診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】

| | | |
|------------|--------|----------|
| 山口医院 (平作町) | 9時~17時 | ☎24-1811 |
| 5月2日、16日 | 6月6日 | |

| | | |
|-------------------------|--------|----------|
| ニュータウン腎・内科クリニック (中央台高久) | 9時~12時 | ☎46-0606 |
| 5月4日 | | |

| | | |
|--------------|-----------|----------|
| 須田医院 (小島町) | 8時30分~12時 | ☎27-6060 |
| 5月9日、23日、30日 | | |

| | | |
|-------|--|--|
| 5月13日 | | |
|-------|--|--|

【泌尿器科】

| | | |
|---------------------------|--------|----------|
| 常磐病院 (常磐上湯長谷町) | 9時~15時 | ☎81-5522 |
| 5月2日・3日・4日、9日、16日、23日、30日 | | |

| | | |
|-------|--|--|
| 6月13日 | | |
|-------|--|--|

【眼科】

| | | |
|---------------------|--------|----------|
| 中央台たなか眼科 (中央台高久) | 9時~14時 | ☎29-1722 |
| 5月2日、9日、16日、23日、30日 | | |

| | | |
|----------|--|--|
| 6月6日、13日 | | |
|----------|--|--|

【耳鼻科】

| | | |
|------------------|--------|----------|
| ごらい耳鼻咽喉科 (内郷小島町) | 9時~12時 | ☎85-5031 |
| 5月3日 | | |

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208

平日：20時~23時 土曜日：19時~23時

日曜日：14時~18時、19時~23時

祝日：9時~13時、14時~18時、19時~23時

※患者・医療従事者間における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、同感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620

日曜日、祝日：9時~12時、13時~16時 (受付終了時間15時30分)

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時~翌朝8時

●かかりつけ医を持ちましよう

●「LINE」で診察せよましよう

●救急車は適正に利用しましよう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ (ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

市民の

健康教室



提供・問い合わせ (一社)いわき市医師会 ☎38-4201

頻尿

尿が近い、回数が多いことを頻尿と言います。急に発症し、尿を出すときに痛みがある頻尿は、ぼうこう炎が考えられます。主な原因は、ぼうこうに菌が入ることで、女性に多く見られます。

中年以上の男性で、尿が出にくい、または尿が残る感じがある場合の頻尿は、前立腺肥大症が疑われます。尿が出せなくなるほか、前立腺がんを伴うこともあります。強い尿意があるのに、少ししか出ない頻尿は、過活動ぼうこうが疑われます。発症の頻度が高く、ぼうこうが過敏に収縮してしまう状態です。尿が漏れてしまうこともあり、夜間の頻尿になることも多いです。原因としては、加齢や脳の病気、前立腺肥大症などが疑われますが、原因不明の場合も多く見られます。

頻尿は生活の質がかなり落ちますし、診断によって治療法が全く異なりますので、放置せずに医師に相談しましょう。

頻尿は生活の質がかなり落ちますし、診断によって治療法が全く異なりますので、放置せずに医師に相談しましょう。

頻尿は生活の質がかなり落ちますし、診断によって治療法が全く異なりますので、放置せずに医師に相談しましょう。

頻尿は生活の質がかなり落ちますし、診断によって治療法が全く異なりますので、放置せずに医師に相談しましょう。

総合診療科医療録②

けんこうQ&A 消化器科②

食道がん

Q 最近、飲食物がつかえる感じがします。どんな病気が考えられますか?

A 食道がんには注意が必要です。この病気は、喉と胃をつないでいる筒状の臓器である食道にがんができません。初めは自覚症状がないことがほとんどですが、進行してくると飲食物のつかえや胸・背中の痛み、せき、声のかすれなどの症状が出てきます。Q どのように診断するのですか? A 症状をよく聞きしてから、食道の内視鏡検査を行います。Q 日常生活で気を付けることを教えてください。

A 食道がんが発症する原因には、飲酒と喫煙が関係しています。中でも酒を飲むと顔が赤くなる人は、食道がんの危険性がさらに高まること指摘されています。食道がんを予防するためには、飲酒を控えること、禁煙を心がけることが大切です。

肋軟骨炎

皆さんは、ぶついたり転んだりしていないのに、前胸部に痛みが発生し、医療機関を受診してX線撮影や心電図、血液検査などを行っても異常がなく、結局痛みが原因が不明だったという経験をしたことはありませんか。

一本の指で痛みを示すことができ、そこを押すと痛みが誘発されるなら、それは肋軟骨炎かもしれません。

肋軟骨炎は、前胸部の真ん中にある胸骨と肋軟骨をつなぐ肋軟骨を押すと痛みが生じ、左側が痛むことが多いとされています。四十歳以上の方に多く見られます。

肋軟骨炎は、命に関わるような重大な疾患ではなく、多くは自然治癒しますので、過度に心配しないようにしましょう。

肋軟骨炎の治療は、痛みが治まるまで胸部の筋肉を使い過ぎないようにします。痛みが強い場合には、消炎鎮痛剤で対症療法を行います。

肋軟骨炎は、命に関わるような重大な疾患ではなく、多くは自然治癒しますので、過度に心配しないようにしましょう。